

◇2013年度実施の国内修学旅行の実態とまとめ(高等学校)〈抜粋〉◇

この調査は2013(平成25)年度に実施された高等学校の修学旅行に関するものである。

今回の調査では、国内修学旅行実施率は83.6%であり、海外修学旅行を実施(13.3%)と合わせると96.9%の学校が修学旅行を実施している。これは、前年度の実施率(97.1%)とほぼ同レベルであり、2010年度には東日本大震災の影響で93.9%に落ち込んだものの、実施率ではほぼ震災前まで戻っていると言える。

この調査は、全国の国立・公立・私立等の高等学校を対象とし、下表の調査校を抽出し回答を依頼した。

設置者名	国立	公立	私立等	合計
全国校数	15	3,646	1,320	4,981
抽出校数	15	1,638	1,210	2,863
回答校数	1	622	372	995
回答率%	6.7	38.0	30.7	31.6

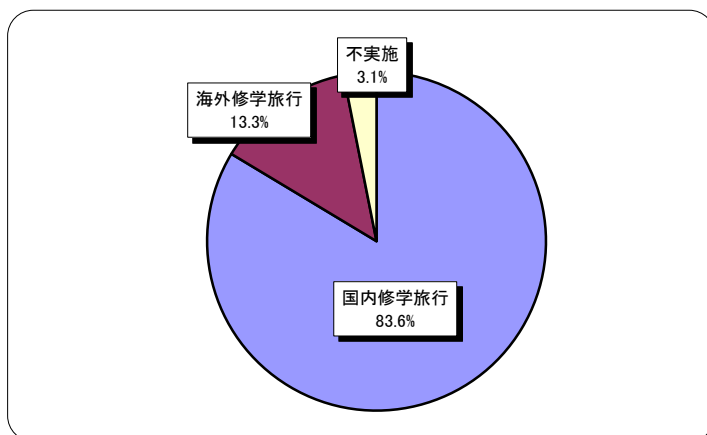
※ 回答率は、抽出校数に対する回答校数の割合

調査項目は次の通りである。

- (1)実施状況(2)不参加者の理由(3)実施時期(4)実施学年(5)保健指導のための引率者
(6)旅行日数(7)旅行費用(8)主な交通手段(9)旅行内容「活動、旅行先、見学先、行動形態、宿泊地等」
(10)班別自主行動(11)体験学習(12)防災(避難)訓練の取り組み

ここではその一部を抜粋して紹介する。なお詳細についてはデータブック教育旅行年報をご覧ください。

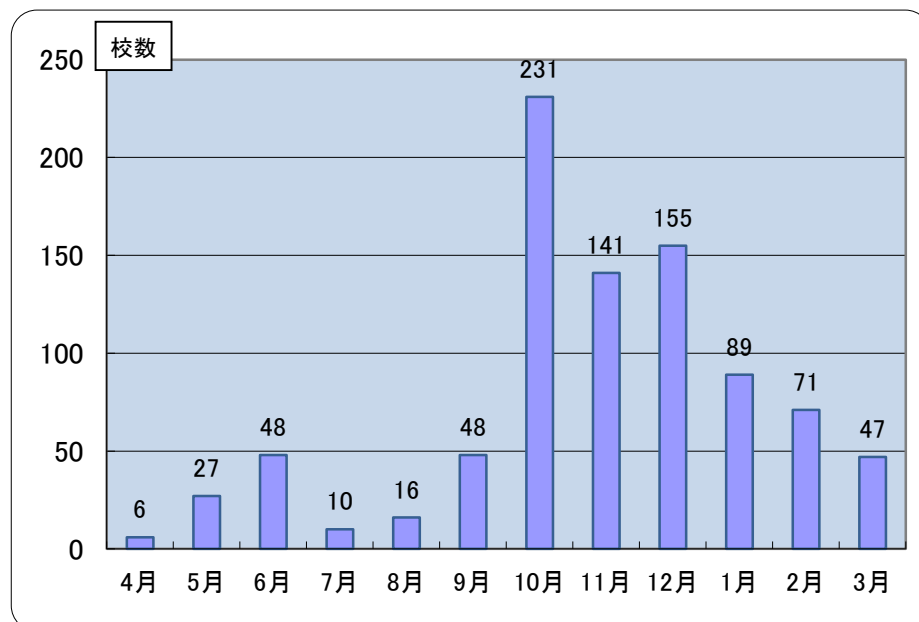
1 修学旅行の実施状況



国内・海外を合わせた修学旅行の実施率は96.9%であり、前回(2012年度実施)の97.1%とほぼ同レベルである。

国内と海外の構成比で見ると、前は国内が87.0%であったが今回は83.6%に減ったが、これは海外が10.1%から13.3%に増えたためである。

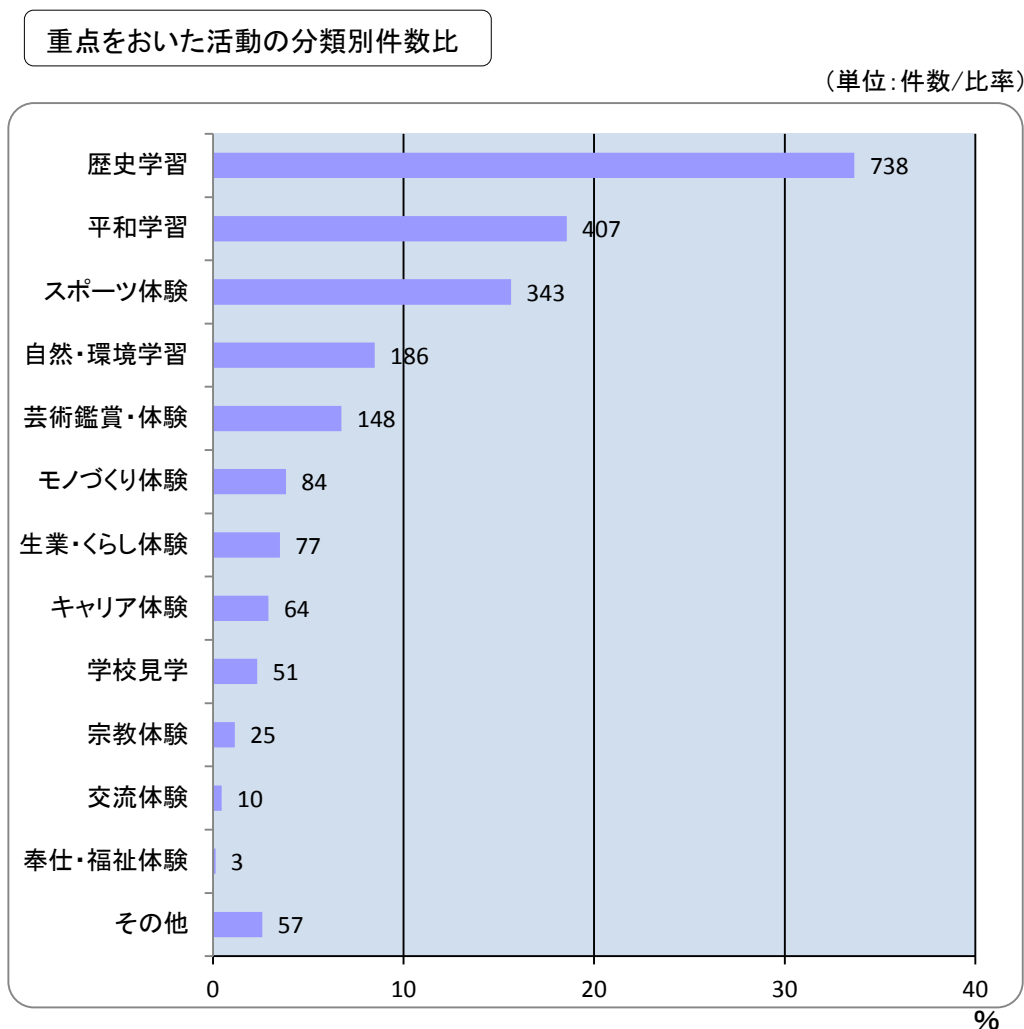
2 国内修学旅行の実施時期



国内修学旅行の実施時期は、10月～12月に実施する学校が全体の59.3%を占めている。

国公立校では10月～1月の実施校が年間全体の76.5%を占め、2月～3月の実施校が年々、徐々に減少している。これはスキー修学旅行の減少が反映されているためと考えられる。

3 分類別旅行内容



国内修学旅行で重点をおいた旅行内容を大きく分類し「歴史学習」関連や「平和学習」関連で見ると、「歴史学習(史跡・町並み・産業遺産・博物館の見学等)」に重点をおくものが738件と一番多く全体の33.7%を占める。

続いて「平和学習」が407件(18.6%)、スポーツ体験(スキー・スケート・ラフティング・カヌー等)が343件(15.6%)となり、この3分類内容で全体の70%近くを占める。

一方、2009年度実施の調査(2008年に修学旅行を実施)では「博物館の見学」や「美術館の見学」が上位にきていたが、この5年間で徐々に順位が下がり、代わって「スポーツ体験」や「職場訪問・職場体験」「いなか暮らし体験」などが徐々に上がってきている。



トキの田んぼ生き物調査
写真提供:(一社)佐渡地域観光交流ネットワーク



しまなみ海道サイクリング
写真提供:(一社)広島県観光連盟

4 旅行先ベスト20

順位	見学先	件数	構成比%
1 (1)	沖縄	277	14.5
2 (3)	東京	213	11.1
3 (2)	京都	188	9.8
4 (4)	大阪	169	8.8
5 (6)	千葉	156	8.1
6 (5)	北海道	147	7.7
7 (7)	奈良	138	7.2
8 (8)	長崎	81	4.2
9 (9)	福岡	77	4.0
10 (10)	広島	66	3.4
11 (12)	長野	65	3.4
12 (11)	兵庫	60	3.1
13 (14)	神奈川	45	2.3
14 (13)	熊本	35	1.8
15 (15)	佐賀	34	1.8
16 (16)	鹿児島	19	1.0
17 (17)	新潟	14	0.7
18 (20)	滋賀	13	0.7
18 (19)	岡山	13	0.7
20 (-)	栃木	10	0.5
20 (18)	山口	10	0.5
その他		85	4.4
合計		1,915	100.0

()順位は前回の順位

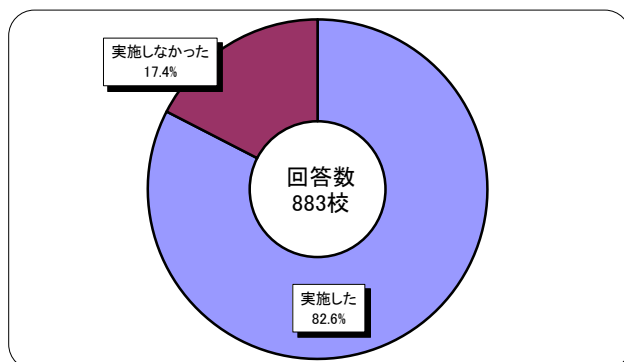
前回の調査から訪問した都道府県を滞在時間や訪問回数に関係なく旅行先としては1回としてカウントした。その結果、スキー修学旅行や、沖縄・北海道などのように比較的一個所に長く滞在する都道府県の順位が相対的に低くなり、京都・大阪・福岡などの周遊型で訪問する府県は順位が上がった。

北海道(前回2位→今回6位)、長野(〃6位→〃11位)、新潟(〃11位→〃17位)などは順位が大きく下がったが、沖縄は構成比では(前々回27.3%→今回14.5.3%)大きく下がったものの順位は引き続き1位である。

一方、前々回までの調査では東北地区の県が20位以内に2~3県程度はランクインしていたが、今回の調査では21位(8件)の宮城県が最高である。

従って、冒頭に述べたように修学旅行の実施率では震災前に戻っているが、旅行先等では影響が払拭されたとは言えない。

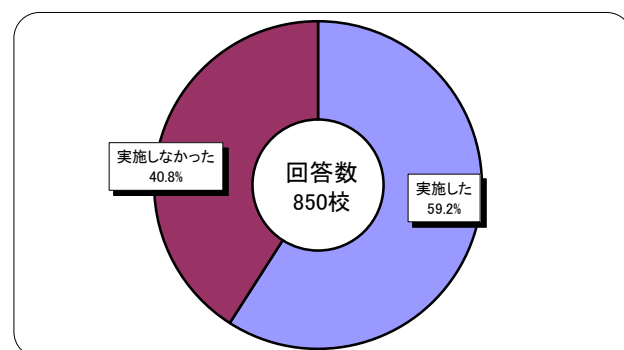
5 班別自主行動実施率



班別自主行動の実施率は82.6%と高く、前回の81.6%からさらに増えている。

班別自主行動の場所では京都市内、東京都内、国際通りなどが人気である。

6 体験学習実施率



体験学習を実施した学校は全体の59.2%であり、前回の61.2%からは若干減ったものの、近年の傾向としては徐々に伸びている。設置者別では公立校の57.2%、私立校では63.2%が実施している。

ただし、一方では悪天候時の代替スケジュールの問題や、リスク管理手法、費用面での問題等、今後の課題もある。